



やまとみらいカレッジ

大和市文化創造拠点シリウス

～いまにつながる、みらいへつなげる～

昭和・平成期

の



大和周辺の歴史と地理

講師

桜美林大学リベラルアーツ学群 教授 浜田 弘明 氏

※講師のプロフィールと講座内容の詳細は、裏面をご覧ください。

2026年 2月21・28日・3月14・21・28日

全5回 いずれも(土) 14:00～16:00

- 01 大和市の地形と地名
- 02 小田急線の敷設と林間都市計画
- 03 軍都計画と軍事施設の建設
- 04 小田急沿線の都市化と大和
- 05 東急田園都市線の敷設と地域開発

お申込はこちらのQRからも ▶



受付開始：

12月21日(日) 10:00～

お電話、または6階生涯学習センター窓口へ

お申込・お問合せ

046-261-0491

※12/29(月)～1/3(土)は休館日です。

会場

大和市文化創造拠点シリウス6階
大和市生涯学習センター 601講習室

定員

50名(先着)

対象

大和市内在住・在勤・在学の方

※市外の方は定員に空きがあれば、12/26(金)から
申し込みを受け付けます。

参加費

2,000円(全5回分)

※学生の方は半額(※学生証をお持ちください)

※初回にお支払いください。返金できません。

持ち物 筆記用具

※天候や交通機関の運行状況及びその他の不可抗力により、開催が中止となる場合がございます。

※駐車場の数に限りがありますので、公共交通機関で
ご来場ください。

主催：やまとみらい(大和市文化創造拠点等 指定管理者)／大和市生涯学習センター

講師

桜美林大学リベラルアーツ学群 教授 **はまだ ひろあき 氏**



神奈川県海老名市生まれ、大和市在住。
桜美林大学教授、モンゴル文化教育大学名誉教授。
法政大学大学院人文科学研究科地理学専攻修了。
相模原市立博物館学芸員等を経て現職。
専門は、博物館学・人文地理学。町田市・海老名市文化財保護
審議会会長、相模原市・座間市文化財保護審議会委員。大和市史・
座間市史・海老名市史・綾瀬市史・相模原市史等を執筆。
元全日本博物館学会副会長。元文化審議会博物館部会長代理。

01 大和市の地形と地名 [2月21日]

大和市域は相模原台地上に広がり、宙水と呼ばれる特徴的な凹地地形があります。かつては、中央林間に「デーラクボ」、南林間に「ウズラクボ」と呼ばれる窪地がありました。市境には境川が流れていますが、水の得にくい地域であったため、1950年代までは、多くが畑地や雑木林となっていました。市域には、特徴的な地形や土地利用に因んだ地名のほか、開拓や都市開発に関わる地名もあり、地名のバリエーションと移り変わりを考えたいと思います。

02 小田急線の敷設と林間都市計画 [2月28日]

小田急江ノ島線は、小田原線が開通した2年後の1929年に開通しました。小田急では、鉄道の敷設に合わせて、沿線に遊園地や住宅地の開発を進め、市域では林間都市計画が進められました。開通とともに、東・中央・南の3つの「林間都市駅」が開業しましたが、分譲販売や施設誘致が上手く進まず、1941年には「都市」の名前が削られ、現在の駅名となりました。明治以降の東京周辺の鉄道計画と、小田急の沿線開発などについて、当時の資料から追ってみます。

03 軍都計画と軍事施設の建設 [3月14日]

マッカーサーが降り立った飛行場として知られる厚木飛行場は、戦時下に海軍飛行場として建設されたものです。大和駅周辺では、大和軍都計画の一環として区画整理が進められました。軍事施設の建設は、相模原台地一帯で進められ、陸軍と海軍の施設が次々と建設されました。中でも相模原には8つの陸軍施設が建設され、陸軍の軍都として国内最大の軍都計画が進められました。軍都計画によって変貌していく地域の様子を探っていききたいと思います。

04 小田急沿線の都市化と大和 [3月21日]

敗戦後、水に乏しい相模原台地に灌漑用水路を建設し、畑地開発を行う計画が進められました。しかし一帯は、戦時中の区画整理事業による都市基盤整備がもととなり、急速に都市化が進展し、畑地灌漑事業は短命に終わりました。小田急沿線には住宅団地が相次いで建設され、人口が急増しました。1954年に相模原、1959年に大和が市制を施行し、工場誘致条例を制定して工業化の促進も図られました。農村から都市への変貌ぶりについて検討したいと思います。

05 東急田園都市線の敷設と地域開発 [3月28日]

東急田園都市線の市内駅となる、つきみ野駅は1976年に開業しましたが、中央林間駅への延伸には時間がかかり、乗り入れを果たしたのは1984年でした。東急電鉄では、沿線の住宅地・ニュータウン開発を自ら行い、鉄道敷設を行っていますが、田園都市線の名称のもととなった、田園都市の歴史をたどってみたいと思います。田園都市線の敷設と沿線開発のあゆみ、さらには沿線の駅名や地名の特徴と沿線イメージについても考えてみたいと思います。